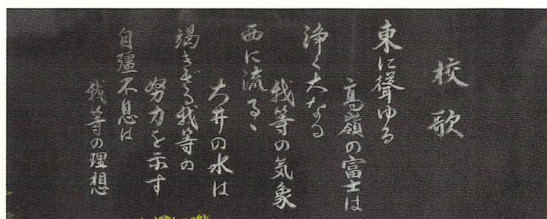




自强不息

たゆまず自ら努め励む



同窓会長 池谷 勇

日頃、会員の皆様方には同窓会の事業運営につきまして大変ご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。さて、「同窓会だより」の発刊時期の都合により、ご挨拶が遅れまして申し訳なく存じますが、去る八月八日付で同窓会長に再任され就任いたしました。誠に光栄であるとともに身の引き締る思いであります。今

後は、新役員体制により新たな決意をもって同窓会及び母校の発展のために全力で尽力して参る所存であります。

一方、ご案内のとおり今年に入ってから中国の武漢を発症地とする新型コロナウイルスの感染が世界的な広がりをみせることも我が国においても感染が拡大し、国難とも言える状況となりました。そして遂に四月上旬に安倍首相から「緊急事態宣言」が発出され、全国的に感染防止対策が講じられてきましたが、五月中旬には解除されました。しかし、その後も東京を中心とした感染は止まず、第

二波・第三波の感染が懸念されて新型コロナウイルス対策である三密対策が実行・継続されて参りました。そうした中で、同窓会事業も例年どおり実施することとができず、特に本年度は同窓会の総会を中止し、新年度の事業計画案および予算案等総会決議事項に対する委任状を会員の皆様方から提出していただき書面決議を実行させていただきました。

そして、特に本年度は役員の改選期にあたり、会長・副会長・監査員及び理事等の総会承認についても、前述議案同様書面決議させていただきました。結果、新役員体制が発足・スタートして今日に至りました。我々新役員は一致協力して同窓会の目的を実現すべく全力を傾注して参る所存であります。

我が同窓会は、明治三十六年の創立以来、今年で一七七年目を迎え、令和二年三月三十一日現在の同窓会員は、一一、九五四名となり、物故者三、八一八名及び住所不明者二、五〇七名を加えると、在籍会員数は一八、二七九名という大規模、かつ歴史ある同窓会となりました。

そこで、新役員体制のスタートにあたり、私の所信を申し上げます。

先ず、同窓会発展のためには同窓会を活性化すること、何よりも必要であり、その活性化の核となる各支部の組織化が重要であります。そうした考えのもとに私が会長を引き受けて以来、各支部の組織化に取り組み、推進して参りました。

現在、組織化された支部は一九支部となり、遠方の支部は別として志太・榛原地区で三十四支部ありますので五十六%の支部が組織化されたこととなります。組織づくりが出来ている支部は、会員の動向調査や懇親会等実質的な活動をしていただくとともに、一方、未組織の支部においては助成金も活用していただいて引き続き組織化に向けてご努力をお願いしたいと存じます。執行部も必要な支援や相談には積極的に対応し協力させていただきます。

次に、母校発展のために、また、教育支援の立場から触れたいと思いますが、令和二年度は新入学生の募集定員二〇〇名を充足いたしました。また、教育支援の立場から触れたいと思いますが、令和二年度は新入学生の募集定員二〇〇名を充足いたしました。また、教育支援の立場から触れたいと思いますが、令和二年度は新入学生の募集定員二〇〇名を充足いたしました。

が家の子供を藤枝北高校へやりたいと言うような環境を醸成することが大切であります。

その環境と言うのは学校の校風が良いとか、施設が良いとか言うこともありますが、具体的には卒業生の良い企業等への就職率が良いとか、大学、専門学校への合格率が良いとか、あるいは部活の成績が良い、強い、また食品サイエンス部の部活のようにマスコミに注目、取り上げられるような魅力ある環境を言うのであります。

即ち、中学生や保護者から選ばれる藤枝北高校であるべく条件を具備した、魅力ある学校像を構築する必要があります。同窓会としては、学校側と一層意志の疎通を図りながら、こうした目的が実現できるよう努力して参りたいと存じます。また、同窓会としても、生徒の募集活動に協力して行くことが求められております。

最後に、令和五年には本校創立一二〇周年を迎えるのに鑑み、その記念事業の構想について今年度から学校側と協議していきたいと考えております。会員の皆様方にはこの点について特別なご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。次第であります。

藤枝北高校の近況及び生徒の活躍

1. 学校の生い立ち

明治36年(1903年)に郡立静岡県藤枝農学校として生まれ、県立の高等学校になってからは、長年、農業科、園芸科、工業科及び生活科を併設した学校として、多くの卒業生を輩出してきました。

平成15年(2003年)、「普通科」「専門学科(農・工・商)」に次ぐ第3の学科「総合学科」の学校として生まれ変わり、まもなく創立120周年を迎えます。志太地区で最も伝統があり、そして、最も新しい形態を備えた学校です。

2. 学校の教育目標

次に示す教育目標の達成を目指して、日々の教育活動に取り組んでいます。

「校訓『自強不息』のもと『知・徳・体の調和を図り、幅広い視野をもち、社会の変化に主体的かつ柔軟に対応できる、個性と感性豊かな人間の育成に努める』を基本理念に、生徒が充実感を保ち、保護者や地域に期待される学校づくりを目指しています。

総合学科高校として、普通科目と専門科目を選択履修することを基本として、総合的に学ばせ、個性化・多様化を推進しつつ、将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深める学習を重視し、生徒の個性を生かした主体的な学習を通じて、学ぶことの楽しさや成就感を体験させることを目標としています。

3. 総合学科について

(1) 総合学科とは

文部科学省が、「普通科」「専門学科(農、工、商など)」に次ぐ「第3の学科」として設置した学科です。

約100科目の授業が開講されていることに加え、農場を始め、多くの実習室や実験室を備えおり、小さな大学のような雰囲気を持っています。そして、生徒はキャリア教育、課題研究、実習等を通して、自分を見つめ、将来の自分のために積極的に学んでいます。

(2) 学習内容

- ① 1年次に、本校の特徴科目である「産業社会と人間」を学びます。社会と自分の関わりについて自覚を深め、自分の進路を決定するための第一歩とします。体験学習も取り入れており、進路について深く考えることができます。
- ② 2年次からは、人間社会、自然科学、園芸科学、食品科学、情報科学(技術・処理分野)、環境化学の6系列(7分野)に分かれます。専門科目と自由選択科目の授業が多くなり、自分の進路実現に向けた、自分なりの時間割が作れるため、意欲的に学びを進めることができます。生徒は選択した科目の教室に、教科書や教材を持って移動します。
- ③ 授業は少人数授業が基本で、習熟度別クラスを設定、学年ミックス(2年と3年合同)の授業もあります。
- ④ 「食生活と環境」「郷土史」など、本校でしか学ぶことができない科目もあります。

4. 進路指導と実績

大学進学から就職まで多様な進路を実現する進路のノウハウがあり、すべての進路に対応した進路指導体制が準備されています。

また、進学については、総合学科と専門学科(農業、商業、工業)の特別枠が利用できます。

【過去3年間の主な進路実績】

大学・短期大学

静岡大学、静岡文化芸術大学、公立諏訪東京理科大学、静岡県立農林環境専門職大学、神奈川大学、日本大学、東京農業大学、東京聖栄大学、南九州大学、多摩大学、千葉工業大学、大東文化大学、東京工科大学、流通経済大学、愛知工業大学、愛知学院大学、名古屋学院大学、静岡理工科大学、静岡産業大学、静岡福祉大学、静岡英和学院大学、常葉大学

静岡県立大学短期大学部、静岡県立農林環境専門職大学短期大学部、静岡英和学院短期大学部、常葉大学短期大学部、浜松学院大学短期大学部、日本大学短期大学部 等

専門学校等

静岡県中部看護専門学校、島田市立看護専門学校、富士市立看護専門学校、静岡医療科学専門学校、中央医療健康大学校、東海調理製菓専門学校、静岡工科自動車大学校、エコール辻東京、中日本航空専門学校、劇団青年座研究所 等

就 職

東海旅客鉄道(JR東海)、大井川農業協同組合、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、小糸製作所、スズキ、ヤマハ発動機、村上開明堂、ネスレ日本、住友ベークライト、矢崎部品ものづくりセンター、倉嶋自動車商会、静環検査センター、シミックCOM、田子重、ハラダ製茶、鳥越製粉、丸七製茶、はごろもフーズ、東洋水産、ニッセー、エスエスケイフーズ、ミズノテック、ホテルアンピア松風閣、日本平ホテル、西濃運輸、橋本組、警視庁、神奈川県警察、静岡県警察、静岡県職員、焼津市役所、志太広域事務組合(消防官)、自衛隊、日本郵便 等



岡田副校長



小学生対象の英語レッスン



地域福祉実践

令和二年度第四十回定期総会について

本年度は、定期総会開催の年にあたりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、役員・会員の皆様が一堂に会しての開催は中止し、令和2年6月8日に百銘館にて、四役(会長、副会長、名誉理事、監査員)等の出席により開催し、会員相互の連携、交流により親睦を深め、知識を交換し、地域の繁栄に寄与するとともに母校の発展のために後援することを目的に今年度の事業計画、予算計画と今後四年間の各役員改選を行い決定しました。

主な事業計画

- *各専門委員会の開催(随時)
- *新入会員の入会式挙行(二月)
- *支部活動(組織づくり)の推進(正副支部長会の開催)
- *同期会、同級会活動の推進(幹事会の開催)
- *母校教育活動への支援、協力(綴帳修理、母校管理職との連絡会)
- *会員動向調査の継続
- *長寿会員の調査(七月)及び慶祝事業(九月)
- *女性会員の活動推進
- *同窓会だよりの発行



同窓会新副会長 挨拶



第六十三回卒
前島 豊

藤枝北高校を卒業してから五十一年の余が過ぎました。黒板側の正面に一つ入口があるだけの少し前まで蚕を飼育していた名残りのある教室。生徒数はひとつクラス五十六人、机が教室の後ろまで並んだ当時の光景を今でもよく覚えています。農業のいろはを学ぶ一年生の時に担任の池田先生に応援団の指名を受け三年間夢中になって取り組んだことや、仲間たちと夢を語り合い切磋琢磨しながら過ごした日々は

今でも良き青春の思い出です。あれから五十年、私は専業農家として日々汗を流しています。互いに年を重ねる会えば体を労う会話が生まれましたが、友が元気に働き人生を謳歌している姿を見ると、まだいけるまだまだこれからだとながらわいてきます。あの頃語り合っていたくつもの夢をどれほど叶えられたかといえば、数える程がもしません。それでも、励まし支え合い助け合える一生の友と今もつまらない話で笑い合える私は、とても幸せ者です。これからは同窓会役員を通じて微力ながら北高の発展に尽力していければと思います。

積み重ねてきた努力はいつか報われる



校長 鈴木敏彦

同窓会の皆様におかれましては、日ごろから、本校の教育活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、放送による始業式や来賓の出席を見合わせる一斉臨時休業など、異例のスタートとなりました。皆様には大変御心配いただきましたが、

学校は、五月二五日に無事再開いたしました。また、感染症拡大防止の観点から、インターハイなどの主要な大会等が中止となりました。生徒は、練習の成果を発揮する場を失い、非常に悔しい思いをしました。けれども、これまでの積み重ねてきた努力は消えるものではないです。いつか報われる時が来ると信じています。さらに、今年度は、就職や進学に感染症の影響が出ることが予想されます。学校といたしましては、生徒が不利益を被ることがないように最善の対策をとってまいります。同窓会の皆様におかれましては、引き続き、御支援をお願いいたします。



入学式校長式辞

同窓会新副会長 挨拶



第六十回卒
池谷 薫

私は、昭和三十七年四月に入学を許されて以来、学生として活動、同じく藤枝北高校に入学した息子や娘の親として、尚九十周年の記念事業の自彊館の募金活動、百周年の百銘館の建設運動に学校PTA役員として同窓会役員として関わらせて頂きました。

自分の学校生活は楽しかったし、何より東京オリンピックが開催され、本校前の国道一号線を聖火リレー、三年生の小林先輩が堂々と聖火を掲げて颯爽と走る。本年同窓会の副会長に就任する。本年御推薦頂き、その年に東京オリンピック開催、何かを感じながらの気持ちでした。又、北高卒業生という御縁で町議会選挙や町長選挙、その後の農協組合長選、全て同窓会という大きな御力の御陰で活動させて頂きました。学校同窓会という社会の中で、実社会との結び付きの御縁、今生徒達も一般社会で直ぐ対応出来る商品も輩出しています。私は、三年前、里手の焼酎の提案もしました。今年、完成、多くの人に喜ばれています。団体としての結束や団体としての行動は未来に夢や希望を示し続けていきます。藤枝北高校に関わられて良かった。

藤北ブランド商品 Reward from Taros (里芋からのご褒美)



「サトイモ焼酎できた」という見出しで、7月7日の日本農業新聞に、本校とJA大井川、杉井酒造と協力して開発した芋焼酎が紹介されました。その特徴は、廃棄しているサトイモの親芋を利用し、持続可能な社会を目指していること。女性をターゲットにして、「Reward from Taros (里芋からのご褒美)」という横文字のネーミングやピンクを基調したラベルデザインを生徒が開発したことです。

今回のサトイモ焼酎で、8年前に開発した純米酒「米の花を紡ぐ物語」から、お酒は4種類となりました。その他にも生徒が開発した商品は、トマト豆腐、レトルトカレー、プリン、飴、食パン、ベーグル等があります。全てが開発から今に至るまで地域の商店で販売されています。どれも生徒が地域の活性化を目標に、地域資源を利用し、地域の農家や商店と連携して開発したものであり、正しく『藤北ブランド商品』です。藤枝北高校と地域の皆様が共に歩んでいる証であると考えます。

今後は、藤枝市観光協会売店やKADODE OOIGAWAでの販売、藤枝市ふるさと納税返礼品の認証等を目指し、「藤北ブランド」の発展に努めていくつもりです。

西尾真一 教諭



H30 自彊祭



農作業



カレー作り

理事

氏名	卒回次科	支部	専門委員会等
増田一彦	48.農	静浜	組織副委員長
深津三郎	49.農	小川	広報副委員長
鈴木常夫	50.農	静清庵	広報
向島春江	50.家	瀬戸谷	事業副委員長
芝田米蔵	51.農	青島	事業
斎藤寛之	52.農	相川	組織
向島祥郎	56.農	瀬戸谷	組織
柴田かね子	56.家	稲葉	組織
秋山勝義	58.農	葉梨	広報
石橋 清	60.農	広幡	事業
山下 忍	60.農	金谷	組織
長谷川文子	60.生	青島	広報
池谷 脩	61.工化	青島	組織
塚本澄雄	62.園	初倉	事業
藁科光生	61.工化	焼津	広報
高橋とし子	62.生	大洲	事業
横井悦子	64.生	静清庵	広報
秋山きよみ	64.生	広幡	組織
滝井 徹	68.農	静浜	組織
臼井郁夫	68.園	大洲	広報
山田嘉宏	68.園	葉梨	事業
平口恭利	70.園	瀬戸谷	事業
鈴木浩己	75.工化	大富	広報

顧問 相談役

職名	氏名	卒回次科	支部	専門委員会等
顧問	鈴木敏彦			現校長
相談役	甲賀 圭	48.家	焼津	
	池谷匡世	49.家	高洲	
	入野駿一郎	51.農	朝比奈	
	竹下寿夫	58.農	朝比奈	
	杉村富士雄	60.工化	西益津	

四 役

会長	池谷 勇	49.農	静浜	
副会長	増田篤司	49.農	大富	事業副委員長
	松葉義之	52.農	葉梨	組織委員長
	増田信行	54.農	和田	広報委員長
	池谷 薫	60.農	静浜	事業委員長
	四ノ宮恵美子	60.生	焼津	広報副委員長
	前島 豊	63.園	朝比奈	組織副委員長
名誉理事	増田篤司	49.農	大富	事業副委員長
監査員	村田節子	60.生	大富	
	大塚博巳	65.園	葉梨	

令和元年度末 退任者

職名	氏名	職名	氏名
副会長	池谷 匡世	理事	木野 謙一
副会長	竹下 寿夫	理事	増田 勝幸
監査員	入野駿一郎	理事	増田 勝司
監査員	杉村富士雄		

記念品贈呈

藤枝北高校の近況及び生徒の活躍

5. 生徒の活躍 (平成30年度、令和元年度全国大会実績)

①第69回日本学校農業クラブ全国大会

平成30年度鹿児島大会 プロジェクト発表分野Ⅲ類に出場
題目: 「過疎地域の活性化プロジェクト

～高校生農家民宿への挑戦～」

内容: 過疎化が深刻な浜松市水窪町の活性化を図るプロジェクトとして、天然糞菌を利用した商品開発や発酵体験教室の実施、さらに「高校生農家民宿」に向けた取組などについて発表しました。



②レスリング部

- 平成30年度 インターハイ (三重大会)
個人対抗女子 74kg級に出場
- 令和元年度 インターハイ (熊本大会)
個人対抗女子 48kg級、68kg級、74kg級にそれぞれ出場
- 全国高校生グレコローマン選手権大会(大阪大会)
男子51kg級に出場 (1回戦を突破)

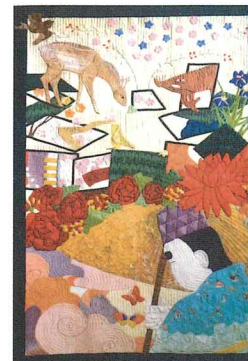


③手芸部

東京国際キルトフェスティバル2020
ユース部門第2位

作品名『花歌留多(かるた)』

※東京オリンピックが開催されるにあたり、日本を訪れる世界中の人に「日本(和)の魅力を伝えたい」と思い、花や動物で彩られた花かるたの絵柄をモチーフに、着物の色や風合いを生かして“和のみやび”を表現しました。



第115回卒幹事 挨拶



森竹 陽美

今の私を確立することが出来たのは、母校で過ごした三年間があったからです。
部活漬けの毎日で「逃げ出したい」と思う時が何度もありましたが最後まで逃げずにやり切ったからこそ、感謝の気持ちを忘れないことや人のために動くことを学びました。就職後の今でも尚、それらを活かすことが出来ています。
現在私が所属している株式会社田子重では、安全かつおいしい食品を

私は辛いことがあった時、ふと脳裏に浮かぶのは、母校で過ごした思い出です。入学した当初は校舎が広く、幾度となく迷子になりました。体育祭や自彊祭、修学旅行等の行事では楽しい思い出ができました。また進路決定の際は、さまざまな事で悩み苦しみました。母校で過ごしたそんな三年間があったからこそ、今の自分があるということを忘れません。
さて、現在私が所属している焼津市役所農政課では、主に農業に従事する方への支援を行っています。金銭面での支援等を行い、就農継続性を保つことはもちろん、新規就農の



児島 陸

確保・維持も目指しております。
焼津市には豊富な水産物がありますが、静岡県オリジナル酒米品種「誉富士」の水稲生産や、高品質なトマトなどの農産物の栽培も盛んです。つまり、海と陸の双方が市を支える柱となっています。しかし、海が近い影響で塩害が起これば、その結果、耕作放棄地の増加や不法投棄問題なども発生しています。こういった状況を打開し、支援や環境を整備することで市民の方々の暮らしも支えていくことを目指しています。
藤枝北高校同窓会では年齢性別を問わず、助け合える関係だと思っています。一期一会の出会いに感謝しこれからもお互いに一歩ずつ前に進んでいきましょう。
(焼津市役所農政課勤務)
焼津市役所では魚河岸クルービズを行っています。

(株式会社田子重勤務)

同窓会事務局

職 名	氏 名	現 職	卒回次科
事務局 長	藁科光生	理事 副支部長	62.工化
事務局次長	木村順子	母校団体 事務員	(常勤)
事務局 員	石間麻澄	母校団体 事務員	(非常勤)
事務局参与	増田篤司	副会長 名誉理事	49.農
事務局参与	松葉義之	副会長	52.農
同窓会参与	是永史子	母校教員	92.産園
同窓会参与	田中天馬	母校教員	113.総



四役・事務局長

正 副 支部長

支 部 名	会員数	役職名	氏 名	卒回次科
静清庵	371	支部長	小長谷龍彦	56.農
朝比奈	299	支部長	村越弘司	55.農
		副支部長	前島 豊	63.園
岡部	636	支部長	杉山芳伸	59.園
		副支部長	永田寿義	61.園
広幡	511	支部長	石橋 清	60.農
		副支部長	谷澤忠雄	59.園
葉梨	773	支部長	山田嘉宏	68.園
		副支部長	寺田光明	69.園
		副支部長	伊久美吉行	67.園
		副支部長	山田由美子	67.生
藤枝	716	支部長	小野田正明	58.園
		副支部長	増田 淳	58.園
西焼津	510	支部長	増田俊平	66.園
		副支部長	川村和夫	63.農
稲葉	270	支部長	飯塚武司	64.園
瀬戸谷	335	支部長	青木 均	62.園
		副支部長	濱井浩之	74.農
青島	879	支部長	松浦一郎	56.農
		副支部長	松浦 浩	56.農
高洲	657	支部長	落合一美	65.工化
		副支部長	池谷俊三	66.園
大洲	318	支部長	白井郁夫	68.園
		副支部長	岡村龍行	70.工化
		副支部長	大石博幸	72.工化
		副支部長	内藤博文	69.農
東益津	375	支部長	牧田久雄	57.農
		副支部長	水野光一郎	61.農
焼津	494	支部長	石野恵一	62.園
		副支部長	藁科光生	62.工化
豊田	461	支部長	青島洋侑	58.農
		副支部長	増田勝幸	58.農
小川	508	支部長	池ヶ谷昌見	53.農
		副支部長	山田友明	89.工化
和田	381	支部長	増井忠雄	60.工化
		副支部長	増田 昭	58.農

支 部 名	会員数	役職名	氏 名	卒回次科
和田		副支部長	山梨幸夫	60.工化
大富	675	支部長	増田勝司	61.農
		副支部長	池谷晴美	65.生
相川	265	支部長	藁品恵二	48.農
静浜	203	支部長	増田一彦	48.農
		副支部長	森崎真広	55.農
吉永	241	支部長	松野 実	63.工化
		副支部長	村松正二	64.園
六合	273	支部長	森下 健	56.園
		副支部長	森 孝雄	63.工化
大津	85	支部長	杉本辰己	65.工化
		副支部長	大畑富美江	66.生
大長	126	支部長	山田光雄	61.農
		副支部長	伊東一次	60.農
伊久美	49	支部長	奥田周一	62.農
		副支部長	柴田忠志	64.農
島田	252	支部長	塚本壽久	58.園
初倉	232	支部長	大石 進	60.農
		副支部長	田代耕一	63.農
		副支部長	塚本澄雄	62.園
金谷	104	支部長	杉村俊之	60.農
		副支部長	未	
川根	56	支部長	米澤國雄	62.農
		副支部長	未	
川根本町	22	支部長	森下昭司	56.農
		副支部長	中島義明	57.農
吉田	141	支部長	亀山 茂	61.園
		副支部長	大石清志	63.農
川崎	63	支部長	中西 功	64.園
		副支部長	石神与志幸	64.農
坂部	44	支部長	福代悦夫	62.工化
		副支部長	小関寿男	61.農
勝間田	23	支部長	松井 昇	61.農
		副支部長	山本藤雄	61.園
相良御前崎	25	支部長	鈴木腹夫	55.農
		副支部長	未	

令和元年度 母校管理職等の異動状況

転退出 (令2.3.31)			新転入 (令2.4.1)		
職 名	氏 名	転出先	職 名	氏 名	前任校
校 長	鈴木敏彦	異動なし			
副校長	須藤秀幸	静岡高副校長	副校長	岡田浩明	下田高副校長
教 頭	見城喜哉	異動なし			
事務長	新澤健一	清流館高事務長	事務長	滝 静子	島田高事務長
			実習助手	田中天馬	新任

編集後記

今回、同窓会だよりを発行するにあたり原稿の執筆等ご協力をいただいた皆様に、まづもってお礼申し上げます。この同窓会、だよりが少しでも会員同志のつながりが深まることに役立つとともに、総合学科の学校として生まれ変わった最も新しい形態を備えた現在の藤枝北高校を理解していただくことができれば幸いに思います。

広報委員長 増田信行